

第14回

親守詩静岡県大会

「親守詩とは、子どもが5・7・5で「感謝」、親が7・7で「親心」を表現する、親子の「キャッチボール短歌」です。

親守詩静岡県大会賞
(小学生部門)

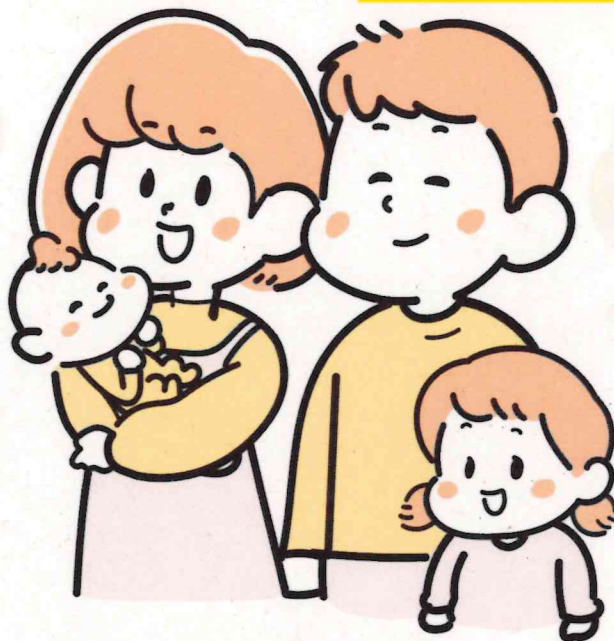
おばあちゃん
年中無休
ありがとう

君との日々が
大切だから

親守詩静岡県大会賞
(一般部門)

親考行

そのうちするから
待っててね
「考」の文字見て
大丈夫かな?



親守詩静岡県大会賞
(幼児部門)

ばんがーれ
ばんがれおしごと
えいえいおー
かわいいうえん
げんきがでるよ

親守詩静岡県大会賞
(中学生部門)

むかつくと
ごめんなさいは
セットです
代々継がれる
ハッピーセット

1 作品応募方法

- (1) 裏面応募用紙に必要事項を記入して、郵送する。
- (2) パソコン・スマートフォンから応募フォームに入力する。
- (3) インスタグラムで「親守詩コンクール公式アカウント」@oyamoriutashizuokaをフォローした後、#oyamoriuta2026 をつけて投稿する。
【後日、事務局がメッセージで必要事項を問い合わせます。】

2 応募区分 幼児の部・小学生の部・中学生の部・一般の部（高校生を含む）

3 締め切り 2026年10月9日 当日消印有効

4 各賞（予定） 静岡県知事賞・静岡市長賞・静岡県教育長賞・静岡市教育長賞 他

5 発表方法 入賞された方には11月中旬に表彰式のご案内をお知らせします。

6 表彰式 2027年2月28日（日）日本平ホテル

7 応募条件

- ① 前回大会へ切以降に詠まれたものが対象です。（令和7年度および令和8年度）
- ② 応募作品は子供が詠んだ上の句に、親が下の句をつけた作品とします。
* 子供と「祖父母」、「担任の先生」など、子供と身近な大人の組み合わせも可能です。
- ③ 静岡県在住の方であれば、年齢に関わらず何作品でもご応募いただけます。
- ④ 作品の発表や出版に関する著作権は親守詩静岡県大会事務局に帰属し、事前の承諾無く作品および作者名を展示発表会やWEB上で使用します。

第十三回静岡県大会 静岡県知事賞

ママゴリラ
今日もウハウホ
おこってる
あなたに贈る
ドラミング

大会情報などはこちら



こちらから
手軽に応募
できます。

言葉をつなぐ 心をつなぐ 親子をつなぐ おやもりうた 親守詩コンクール 作品募集!

表彰式：第14回親守詩静岡県大会 2027年2月28日 日本平ホテルで開催予定

親守詩（おやもりうた）とは、子どもが 5・7・5 で、親が 7・7 で、「感謝」と「親心」を表現する世界にたった1つの家族の短歌です。

親守詩コンクールについて

- 応募区分 幼児の部・小学生の部・中学生の部・一般の部（高校生を含む）
- 締め切り **2026年10月9日当日消印有効** *応募点数に制限なし
- 各賞 静岡県知事賞・静岡市長賞・静岡県教育長賞・静岡市教育長賞 他
- 発表方法 入賞された方には11月中旬に表彰状のご案内をお知らせいたします
- 表彰式 2027年2月28日 日本平ホテルで表彰
- 応募条件 ①応募作品は子供の上の句に、親が下の句をつけた親子の作品とします。
②子供と「祖父母」「先生」など、身近な大人との組み合わせも可能です。
③静岡県在住の方であれば、年齢にかかわらずご応募いただけます。
④作品の発表や出版に関する著作権は親守詩静岡県大会事務局に帰属し、事前の承諾なく作品及び作者名を展示発表会やWEB上で使用します。

親守詩のつくり方

七
ドラミング

七
あなたに贈る

★下の句【家族・大人が作ります】

五
おこつてる

七
今日もフワホ

五
ママニフ

★上の句【おまさんが作ります】



★★★応募の仕方★★★

下の応募用紙を切り取って郵送 ⇒ 〒434-0041 浜松市浜名区平口1857-1 平野

きりとせん

七	七	★下の句 (家族または大人)	五	七	五	★上の句 (子供)
						一言
						一言

あてはまるところを○で囲んで下さい。

★ 幼児 小学生 中学生 一般（高校生を含む）

★ 令和7年度実施 令和8年度実施

がっこうめい 保育園・幼稚園
学校名 立 小・中・高等学校

または 団体名

ふりがな
なまえ

お名前

じっしがくねん (ねんれい)

実施学年 (年齢) 年 (歳)

御自宅住所 (学校で応募の場合は学校住所)

〒

でん わ
電 話

言葉をつなぐ 心をつなぐ 家族をつなぐ

おやもりうたしずおかけんたいかい

親守詩静岡県大会

おやもりうた

親守詩コンクール

たんかさくひんきにゅうようし

短歌作品記入用紙【学校専用】

がっこうせんよう

※この用紙をコピー

してお使いください。

親守詩（おやもりうた）とは、子どもが五・七・五で、親が七・七で、「感謝」と「親心」を表
現する世界にたった一つの家族の短歌です。

日本には、親が子を育てるときに、その想いをこめてうたう「子守唄」があります。親が子を想う「子守唄」
と同じように、子が親を想う「うた」があってもよいのではないのでしょうか。そう考えて生まれたのが「親守詩」
です。子が親を想い、上の句[五・七・五]をつくり、親が下の句[七・七]でそれにこたえます。

（子どもと「祖父母」、「先生」など、身近な大人との作品でも構いません。）

親

子

応募作品

【作品例】

（子）ママとよむ

おやすみまえの おたのしみ

（親）すなおになれる まほうのじかん

（子）だっこだと

かぜがうつるよ お父さん

（親）何を言ってる 親子じゃないか

（子）お母さん

ケンカしてても 話したい

（親）同じ気持ちで おもっているよ

応募する部門	幼児	小学生	中学生	一般（含む高校生）	いずれかに○をつける
学校名	保育園・幼稚園 小・中・高等 学校				
作成年度 学年	R	年度作成	作成した時の学年	年生	
ふりがな お名前	男 女				

親守詩絵日記・ポスターで応募

思い出を絵や写真と親子の短歌で残そう！

年 組 名前

※家族の思い出を絵に描いたり、写真を貼ったりしてあらわそう！

楽しかった思い出を五・七・五・七・七の短歌の形で表してみよう。※「親」の欄は、祖父母・先生など大人であればどなたでもかまいません。

作品例

おかあさん

すいかおいしい

なつやすみ

毎年食べよ

大きくなっても

親

子

どんなことが楽しかったですか。文で書いてみましょう。